

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 4年 3月 16日

公表: 令和 4年 3月 28日

事業所名 放課後等デイサービスくる2

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		カンファレンス行い、職員が意見を述べる機会を設けています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			HP上で公開していますが、公開が始まったらお知らせにて保護者に周知したいと考えております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		コロナ禍により第三者の外部評価は行っていませんが、今後状況が落ち着いたら実施したいと考えております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		オンラインにて研修に参加しております。また参加後研修報告を回収し、職員全体の資質向上を図っております。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的に面談を行い放課後等デイサービス計画を作成しております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		主担当が計画を行い、チームで個々の課題について意見を交換して設定しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			活動内容に偏りが出ないように、様々な職員から意見を出してもらい、活動内容を修正しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日は学習課題の習慣付けを行っております。休日は課題に応じた内容を計画・実施し、外出なども行っております。	今後は更に個々の課題に加え、保護者のニーズも聞き取り設定して参ります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		学校の様子等も聞き取りを行いながら、個別・集団共に計画を立案しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝打ち合わせを行い、その日の流れや注意事項を共有しております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		送迎後特記項目があればその場で共有し、具体的な打ち合わせや反省は翌朝の打ち合わせで共有しております。	今後も打ち合わせ、反省を行いフィードバックに努めてまいります。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			共通の様式を作成し記録を行っています。様々な職員が記入することで、今後の支援の幅が広がる様役立てていきたいです。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○	職員間でカンファレンスを行い、定期的にモニタリングをすることにより、より良い支援につながる様努めております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○	ガイドラインに沿った支援を行っております。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	児発管が参画し、そこで得た情報をスタッフで共有しております。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	学校送迎時に先生からの申し送りがある場合は、送迎職員から他の職員へ必ず情報共有を行っております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在対応を必要としているお子様は通所していませんが、今後必要があれば様々な機関との連携を図っていきたくと考えております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		児童発達支援事業所との多機能施設であるため情報共有が出来ているが、通園している施設等よりの申し送り書類などがあると、今後の支援や計画を立てる際の参考になり、さらに良い支援につながるのでは?と考えております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		今まで移行者がいなかったため経験がありませんが、今後移行者が出てきた場合は、連携する体制を整えて行きたくと考えております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	岡崎こども発達センター等へ見学などを行ったり、外部機関の研修に参加しております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		コロナ禍により交流は控えているが、状況が落ち着いたら実施したいと考えております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	自立支援協議会の下部組織のこども部会へ参加しております。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎時にお子様の様子を保護者にお伝えしています。保護者からお話があった場合は傾聴し、他の職員にも共有しております。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者からの個別の質問には応じていますが、今後ペアレント・トレーニングも実施したいと考えております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に必ず行っております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナ禍のため機会を失っていますが、状況が落ち着いた際は取り組みたいと考えております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	保護者から苦情があった際には書面にて内容を残し、ミーティングを行い改善に努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	定期的におたよりを出すよう努めております。	
	35	個人情報に十分注意している	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	声掛けの仕方や言葉遣いに配慮して関わっています。	お子様の要求等を理解出来るよう、今後も寄り添った支援を継続できるよう努めてまいります。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍より交流は控えておりますが、状況が落ち着いたら実施したいと考えております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			お知らせの発行回数を増やし、毎回内容に盛り込んで案内していきたいと考えております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			訓練を実施した際は、お知らせにて結果をご案内致します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		入社時に必ず研修を行っております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			身体拘束を行う必要のあるお子様は現在通所していませんが、配慮が必要な場合は保護者に対応を話し合い、職員間でも協議して行きたいと考えております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		アレルギー対応を原則行っており、見学時や契約時に保護者にご了承頂いております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットがあった場合、速やかに記載し、職員へ回覧と話し合いを行っております。	